

特集

「頓服」の迷い解決！ 現場の問題をクリアしよう

[講演録]

頓服依存文化を「まるきり変えた」経験
——患者さんを大事に思えるようになる病棟改革
| 山下隆之

「頓服」の基本的な考え方

——「不安時」はベンゾジアゼピン系で
本当にいい!?
| 清水勇雄

頓服薬の指示、私はこうしています

——指示を受ける側にも知してほしい
「医師の意図」
| 清水勇雄

[Q & A]

頓服にまつわる現場の疑問に
お答えします

——今さら聞けない質問への超現場的アドバイス
| 山下隆之／清水勇雄

[付録]

近年、「頓服」に使われるようになった
薬の知識アップデート

| 清水勇雄

編集後記

特集の座談会は、「手探りながらも、ぜひお願いしてみよう!」と思い立ったものでした。「精神科看護師は（INARSでも重要な）“第一印象で異変に気づくこと”に長けている」（船橋北病院・井口さん）、「胸がハタハタする」という訴えには「生きたい」を感じる」（宇和島病院・大内さん）、「意欲の低下は痛みの可能性も」（ハートランドしぎさん・松村さん）——こんなにもすごい実践知を、少しでも記録しておきたいと思ったのでした（また機会をつくりたいです）。▶ INARSは、体系的な知識と動き方を効率よく学べるものです。これは鬼に金棒ではないか! と感じました。本編には載せられなかった、土佐病院・松森さんの「ICUでこそ“心”も、精神科では当然“身体”も、当たり前人間を看たい」という言葉も印象的でした。今月号にご協力を下さった皆様に、改めて感謝と敬意をお伝えします。（米沢）

新刊『マンガ精神疾患をもつ人への関わり方に迷ったら開く本——教えて看護理論家の先輩たち! 私の役割って何?』の発行を記念して、1月8日(日)に学校教員の方に向けたセミナーを開催しました。タイトルは、「他の学校で行っている《精神看護学》の授業・実習の工夫を知りたい人、集まれ!」です。この告知を開始したところどんどん申し込みが増え、最後は460名にまで達し、主催者として驚きました。他の人の授業・実習の工夫を知りたい、悩みを共有して解決したいというニーズがここまで高いとは。そして精神看護学を教える人が、普段いかに孤独に頑張っておられるのか。交流ができる形の会っていいですね。また開催を考えたいなと思いました。（石川）

* 予定ですので、著者、内容含めて変更になる場合があります。

精神看護 第26巻第2号 2023年3月15日発行(隔月刊) 発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2023, Printed in Japan 販売・PR部: ☎ 03-3817-5650

「精神看護」編集部: ☎ 03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 米沢・石川・木下 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙・目次写真: 齋藤陽道 印刷・製本: アイワード

1部定価: 1,650円 (本体1,500円+税10%)

2023年年間購読料 (送料弊社負担、年間6冊): 冊子版8,382円 (本体7,620円+税10%) / 冊子+電子版(個人) 11,682円 (本体10,620円+税10%) / 電子版(個人) 8,382円 (本体7,620円+税10%)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

* 「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。